

2 年 6 月 1 日

2020 年度 校友会 基本活動計画

(自動車研究部)部・同好会

顧問名 新屋敷誠 黒木成幸 (小川寛昌 小川義昌)

活動方針 : 本部活動においては、一切の体罰・暴力を行いません。

活動にあたり自動車研究部のモットー{あきらめない (粘り強く作業に当たる)、まもらない(新規な発想を心掛ける)}を常に念頭に置きながら、エンジニアとして技術・知識の習得及び向上を目指す。また、ものづくりを通して旺盛な技術屋魂を育み育てることを目標とする。

活動日(該当箇所に○を) ○ ○ ○ ○ ○
月・火・水・木・金・土・日

休養日(該当箇所に○を) ○ ○ ○ ○ ○
月・火・水・木・金・土・日

活動場所 工学科第 2. 3 実習棟

活動時間

月	15 : 30 ~ 18 :30
火	15 : 30 ~ 18 :30
水	14 : 30 ~ 18 :30
木	原則休養日
金	15 : 30 ~ 18 :30
土	13 : 00~ 18 :30
日	原則休養日

※ 休養日に大会等で活動した場合は、原則として振替休養日を設定する。

	月	活 動 内 容
一 学 期	7 月	<p>エンジンコントロール</p> <p>1. 指定速度でエンジンの自動停止機能 実験用機材 1. シヤシダイ作成 2. 転がり抵抗の測定方法の確立</p> <p>2. スロットルバルブ簡易化 燃料カットで回転制御（スロットルを全開固定）</p> <p>3. 燃料噴射量の制御方式の変更 吸気管内の圧力を測定し噴射量を算出</p> <p>4. インジェクター容量と燃料霧化の関係を調査</p>
	夏 休 み	<p>シャーシ</p> <p>1. 車体構造の見直し データ収集用に旧シャーシを利用して実験を進める。 2. 舵取り機構の見直し 3. フリーハブの変更 ドグ機構の見直し 4. エンジン、リヤタイヤ部の構造変更 5. ハブベアリングの見直し 6. ドライブチェーン及び変速比の検討</p> <p>エンジン</p> <p>1. カムタイミングの変更 カムリフト量の増加、作用角の増加 2. クランク軸、シリンダ間のオフセット量の変更 圧縮工程時のフリクションの低下の効果確認 3. ピストンリング厚の変更 2mm から 1.5mm に変更し効果確認 4. クランクシャフト静的バランス確認</p>
二 学 期	9 月	<p style="text-align: center;">ホンダエコマイレージチャレンジ大会参加</p>
	10 月	<p>大会参加後、改善箇所の検討 改善要綱作成後次年度に向け随時実験を行う。</p>
	11.12 月	<p>マシンテスト</p>
冬 休 み	<p>基礎技術の習得 マシンテスト</p>	
三 学 期	1 月	<p>基礎技術の習得 マシンテスト</p>
	2 月	<p>基礎技術の習得 マシンテスト</p>
	3 月	<p>基礎技術の習得 マシンテスト</p>
春 休 み	<p>基礎技術の習得 マシンテスト</p>	

※活動内容欄には、大会・合宿・保護者会の予定を記入してください。